

令和元年度事業報告

公益財団法人 日本相撲連盟

事業総括

公益財団法人日本相撲連盟

令和元年度事業の主たる成果と課題

1. 競技会の企画運営

令和元年度は、公益財団法人日本相撲連盟が主催する第68回全日本相撲選手権大会、第30回全国都道府県中学生相撲選手権大会、第32回全日本小学生相撲優勝大会など44の主催・共催・後援の競技会が、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本相撲協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、日本相撲振興会その他多くの関係団体のご支援をいただくとともに、開催地のご理解、そして役員の方をはじめ関係各位のご尽力により円滑に運営され、相撲の普及・振興と競技力向上に大きな成果を収めることができました。

特に、第74回国民体育大会相撲競技会は茨城県土浦市で開催され、土浦市長を筆頭に市民の方々の献身的な協力を得て、茨城県相撲連盟、関東相撲協議会及び関係各位のご尽力により成功裡に終了することができました。

また、開催地の変更により準備期間が短い中、関係各位の献身的なご協力により10月に大阪府・堺市において、「第16回世界ジュニア相撲選手権大会」「第8回世界ジュニア女子相撲選手権大会」「第23回世界相撲選手権大会」「第14回世界女子相撲選手権大会」が開催され、無事に終了することができました。各選手権大会において、日本代表選手団は優秀な成績を収めました。特にジュニアは、男女において、団体、個人とも顕著な成績を挙げることができました。

2. 会員登録の拡大と段位取得の奨励

本連盟が会員登録制度を実施して26年目になります。

会員登録制度は、アマチュア相撲に対する意欲の一層の向上を図るとともにアマチュアとしての資格を確保するものであり、競技会の役員への就任、段位の取得、公認審判員資格の取得をするためには会員登録をしていることが条件になっております。令和元年度は、正会員や小学生を中心に会員登録に力を入れ、5,700人を確保しました。

会員登録は、段位登録とともに当連盟の自主財源の根幹を担うものでもあり、会員登録の拡大と段位取得の奨励に一層の努力が必要であります。

3. 女子相撲の普及促進

男子の相撲競技人口が漸減している昨今、女子相撲の普及振興を積極的に推し進め、競技人口の拡大を図ることが重要課題であります。令和元年度も、本連盟の各加盟団体により、大会の開催や稽古の実践、実技への勧誘等を積極的に行い、普及に努めたところです。

今後、女子相撲が国体の正式競技として取り入れられ、男女のスポーツとして将来オリンピック競技に採用されることが大きな目標であります。

4. 中学校体育授業での武道必修化

中学校体育授業での武道必修化は、平成24年度から完全実施されました。現在のところ、実際に授業で相撲を採用している学校は必ずしも多くはありませんが、本連盟作成の補助教材(DVD)等も活用しつつ、今後とも全国の教育委員会などを通じて中学校への普及振興を図ります。

(公財)日本武道館と共催で、第6回全国相撲指導者研修会を11月15日(金)～17日(日)に日本武道館研修センターにおいて開催し、全国から82名の教員、加盟団体所属の指導者等の参加を得ました。当研修会には中学校相撲授業指導法研究委員会のメンバーの8名が講師、助講師として携わり、講義や実践事例報告、班別による中学生への指導など、盛りだくさんの内容でした。次年度以降も、相撲実技の指導者育成のために、各都道府県の教育委員会等への働きかけを進めるとともに、併せて各加盟団体の特段の協力を期待するところです。

5. 公認相撲指導員資格取得と国体監督の有資格者義務付け

平成25年度の第68回東京国体から、監督は公認相撲指導員であることが義務付けられました。各都道府県相撲連盟と協力し、全都道府県に資格取得者が配置されるよう資格取得を進め、今年度は通信講座と東京・日本相撲連盟会館で専門科目の講習会を開催し、新たに14名の公認相撲指導員が誕生しました。

6. 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応

令和元年度第2回評議員会及び同年度第3回理事会は、同2年3月に日本相撲連盟会館において開催される予定でしたが、折からの新型コロナウイルスの蔓延に対処してその感染拡大防止を図るため、定款第23条及び第36条に基づき、書面にて議案を提案し、議決があったものとみなされました。

令和元年度事業報告

1. 会務報告

評議員会	2回	理事会	3回
常務理事会	19回	全国代表者会議	1回
審議委員会(倫理・資格・懲罰委員会)	3回	段位審査委員会	3回

第1回常務理事会	日相連会館会議室	4月 2日
第2回常務理事会	〃	4月16日
第3回常務理事会	〃	5月 7日
第4回常務理事会	〃	5月21日
第5回常務理事会	〃	6月 4日
第1回審議委員会	〃	6月 6日
第6回常務理事会	〃	6月11日
第1回理事会	〃	6月15日
定時評議員会	〃	6月15日
第1回段位審査委員会	〃	6月15日
第74回茨城国体相撲競技第1回調整会議	〃	6月15日
第7回常務理事会	〃	7月 2日
第8回常務理事会	〃	7月16日
第74回茨城国体相撲競技第2回調整会議	〃	8月26日
第74回茨城国体相撲競技組合せ抽選会	〃	8月26日
第9回常務理事会	〃	9月 3日
第10回常務理事会	〃	9月17日
全国都道府県相撲連盟等代表者会議	霞ヶ浦文化体育館	9月29日
第11回常務理事会	日相連会館会議室	10月 8日
第12回常務理事会	〃	10月29日
第13回常務理事会	〃	11月12日
第2回倫理・資格・懲罰委員会	〃	11月26日
第14回常務理事会	南国酒家	11月27日
第2回理事会	日相連会館会議室	11月30日
第2回段位審査委員会	〃	11月30日
全国高校・大学相撲主催地代表者会議	〃	11月30日
第15回常務理事会	ちゃんこ・たなか	12月12日
第16回常務理事会	南国酒家	1月14日
日相連・学連・国際相連・都連・実業団合同新年会	〃	1月14日
第17回常務理事会	日相連会館会議室	2月 4日
第18回常務理事会	〃	2月18日
第3回倫理・資格・懲罰委員会	〃	2月25日
第19回常務理事会	〃	3月 3日
第3回理事会	(書面)	3月14日
第2回評議員会	(書面)	3月14日
第3回段位審査委員会	(書面)	3月14日

2. 相撲の普及・指導に関する事業

(1) 第36回全国小・中・高等学校、大学及び社会体育相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本相撲協会

期 日 令和元年8月20日(火)～23日(金)

会 場 国技館相撲教習所・草津相撲研修道場

参加者 15名(中学・高校体育教員の参加は5名)

研修内容

- | | |
|------------------|----------------|
| ①私と相撲(特別講演) | 高崎親方(元前頭金開山) |
| ②相撲の怪我と応急措置 | 南 会長 |
| ③まわしの折り方・締め方(実技) | 屋田参与 |
| ④相撲の効果的トレーニング法 | 舛田常務理事 |
| ⑤審判規程と審判法(講義と実技) | 村田競技委員 |
| ⑥日相連諸規程について | 櫛原常務理事 |
| ⑦基本動作と相撲体操(草津実技) | 甲山親方・錦島親方他力士2人 |

成 果

前半は国技館で講義と実習を行い、後半は草津相撲研修道場で協会の親方から実技指導を受けた。

相撲の基本技術を習得し、相撲の指導者として注意すべき点を改めて認識した受講生が多かった。

(2) 第6回全国相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本武道館

期 日 令和元年11月15日(金)～17日(日)

会 場 日本武道館研修センター

参加者 82名(教員参加は16名)

研修内容

- | | |
|----------------------|------------------|
| ① 指導法概要 | 桑森委員会座長 |
| ② 実践研究(グループ討議) | 村田委員、太田委員 |
| ③ 指導計画 | 満留委員 |
| ④ 安全管理・指導 | 安藤委員 |
| ⑤ 実践事例報告(出水南中学校の事例) | 長浦講師 |
| ⑥ 実績研究(勝浦中学校の生徒への指導) | 浦嶋常務理事、各委員 |
| ⑦ 実践研究 | 上村委員、村田委員 |
| ⑧ 審判法 | 浦嶋常務理事、堀内委員、太田委員 |

成 果

日本武道館との共催で、スポーツ庁、勝浦市教育委員会の後援を受けてとして実施した。勝浦中学校への授業では、生徒と参加者が一体となって相撲に取り組んでいるのが印象的であった。

昨年より多い82名の出席者を確保できたことは、各都道府県相撲連盟の役員・事務方に感謝したい。教師を目指す大学生も参加した。

(3) 令和元年度学校相撲実技指導者講習会（中学校体育教員の講習会）

共催 スポーツ庁

期日 令和2年2月27日(木)～2月28日(金)

会場 千代田区立スポーツセンター 大会議室・相撲場他

上記の日程で計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽中止となった。

(4) 公認相撲コーチⅠ養成講座（専門講座）

主催 (公財)日本スポーツ協会

期日・会場 令和2年2月22日(土)～23日(日)

日本相撲連盟会館会議室

研修内容 ①「相撲の特性Ⅰ」
②「日本相撲連盟の指導理念とその組織」
③「ドーピング防止Ⅰ」
④「相撲の安全管理Ⅰ」
⑤「対象に応じた指導プログラムⅠ」
⑥「現場における救急処置法Ⅰ」

講師 櫛原常務理事、浦嶋常務理事、満留久摩医学科学委員
村田光央競技委員、村田安啓競技委員

(5) その他

①地方青少年武道錬成大会（主催 日本武道館他）

6月21日(金)～23日(日)	鳥取県鳥取市	講師	平野照二、長澤卓哉
7月27日(土)～28日(日)	鹿児島県東串良町	講師	高橋智彦、吉見龍之介
12月14日(土)～15日(日)	静岡県藤枝市	講師	高橋優毅、重倉誉宣
12月21日(土)～22日(日)	宮崎県宮崎市	講師	高橋智彦、一ノ瀬康平
2月15日(土)～16日(日)	山梨県都留市	講師	下路直

②地域社会相撲指導者研修会

5月25日(土)～26日(日)	島根県松江市	講師	小笠原敦、村上英昭
-----------------	--------	----	-----------

③少年相撲教室

(主催 教育委員会 後援 日本相撲協会・日本相撲連盟)

8月7日(水)	青森県田子町	君ヶ浜親方	講師	中村太一、山市康寛
8月10日(日)	山口県周南市	清見瀉親方	講師	朝岡輝喜

10月 5日(土) 佐賀県唐津市 秀ノ山親方 講師 鶴岩己
10月 26日(土) 鹿児島県南種子町 鳴戸親方 講師 折戸和広

④中学校武道事業(相撲)指導法研究事業(公益財団法人日本武道館)

日時 令和元年10月21日(月)～22日(火)

場所 徳島県・徳島市立川内中学校

出席者 日本相撲連盟から推薦された指導法研究者10名と事務局1名、日本武道館2名

内容 徳島県における研究授業を行った。外部指導者による武道授業(相撲)指導法を体験実施した。

⑤相撲体操講習会(茨城国体イベント事業)

日時 令和元年9月27日(金)13:15～

場所 土浦市立大岩田小学校

内容 相撲体操、国体選手との取組みを通して相撲競技への理解を深める。

講師 村田光央 (公財)日本相撲連盟競技委員

3. 競技力向上に関する事業

(1) 平成31年度全日本ジュニア強化合宿

4月1日(月)～3日(水)

日本大学相撲部道場

参加者25名(内12名選手)

(2) 日本武道団オーストリア共和国派遣(主催 日本武道館)

令和元年11月6日(水)～11月13日(水)

派遣選手 榎波将史、持留大毅、菊池大史芽、菅原市之助、松原史敏、勝呂歩紀

(2) 東方経済フォーラム日露相撲遠征団派遣(ウラジオストック)

令和元年 9月2日(金)～9月7日(水)

派遣役員 団長 南 和文、安井和男、浦嶋三郎、伊東 良

派遣選手 乾 夕月、鳥井本 聖奈、吉田 佳子、五十嵐 敦、長内 孝樹、深野 良太
宮城 陽乾、

4. 競技会の開催・審判員の養成に関する事業

(1) 相撲競技会の開催

全国大会、地方大会、合わせて44の大会を盛況裡に終了した。

(2) 地域振興事業

JOCジュニアオリンピックカップ・第29回全日本小学生相撲優勝大会（ブロック予選会）

ブロック名	期 日	会 場
北海道	10月13日（日）	札幌市中央体育館相撲室
東北	8月18日（日）	八幡平松尾相撲場
関東	8月25日（日）	桐生市営相撲場
東海	8月25日（日）	伊勢市神宮相撲場
関西	8月25日（日）	京都府立伏見港公園相撲場
中国	8月25日（日）	鳥取市営相撲場
四国	8月25日（日）	徳島県JAバンク蔵本公園相撲場
九州	8月25日（日）	熊本県総合運動公園相撲場
北信越	10月26日（日）	石川県立武道館内相撲場

(3) 公認審判員の認証

①公認審判員の認証者数

認証月	申請数	合格者
4月	23	23
5月	3	3
6月	3	3
7月	9	9
8月	1	1
9月	0	0
10月	5	5
11月	1	1
12月	0	0
1月	1	1
2月	0	0
3月	0	0
合計	46	46

②ブロック別認証者累計

ブロック名	登録数
北海道	3
東北	2
関東	5
北信越	4
東海	9
関西	2
中国	0
四国	0
九州	21
日学連	0
日実業	0
高体連	0
合計	46

(4) 審判講習会の開催

主 催	場 所	講 師	開催日
わんぱく相撲	国技館・相撲教習所	村田競技委員	4月 6日
石川県相撲連盟	石川県立武道館	舩田常務理事	4月 7日
富山県相撲連盟	富山県体育協会相撲場	香川参事	4月 21日

長野県相撲連盟	松本平広域公園相撲場	安藤競技委員	6月 9日
東京都相撲連盟	靖国神社相撲場	安井専務理事	6月 19日
西日本実業団相撲連盟	堺市大浜公園相撲場	東競技委員	6月 22日
新潟県相撲連盟	六日町小学校相撲場	齋藤常務理事	6月 22日
東日本実業団相撲連盟	埼玉県立武道館	下谷内参事	7月 6日
愛知県相撲連盟	愛西市立永和中学校	竹内参事	7月 26日
佐賀県相撲連盟	唐津市体育の森公園相撲場	浦嶋常務理事	8月 11日
四国相撲協議会	ホテルサンシャイン徳島	松廣競技委員	8月 24日
東北相撲協議会	あいづ総合体育館	佐藤競技委員	8月 24日
関西相撲協議会	都ホテル京都八条	勝田常務理事	8月 24日
中国相撲協議会	鳥取城北高校会議室	石浦競技委員	8月 24日
関東相撲協議会	桐生市営相撲場	舛田常務理事	8月 24日
東海相撲協議会	伊勢市神宮相撲場	竹内参事	8月 25日
高知県相撲連盟	高知工業高校相撲場	松廣競技委員	9月 15日
鹿児島県相撲連盟	鹿児島市健康の森相撲場	浦嶋常務理事	10月 26日
日本学生相撲連盟	堺市大浜公園相撲場	服部競技委員	11月 1日
青森県相撲連盟	青森県十和田商工会館	円子常務理事	11月 2日
秋田県相撲連盟	美郷町交流センター	佐藤競技委員	11月 17日
鹿児島県相撲連盟	奄美体験交流館	舛田常務理事	12月 15日
審判員講習会合計	22ヶ所	延べ22名	

(5) 競技委員会

日時 9月29日(日) 13:00～

会場 霞ヶ浦文化体育館(茨城国体)

5. 会員登録に関する事業

*平成30年度会員登録

(合計5,708名)

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等
1,280	519	1,103	845	316	1,645

*令和元年度会員登録

(合計5,714名)

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等
1,399	519	1,085	821	297	1,593

6. 相撲段位の認定に関する事業

(1) 段位の認定に関する事業

申請日 段 位	R1.6.15		R1.11.30		R2.3.14		年 間 合格者	登録者 総 数
	申請数	合格数	申請数	合格数	申請数	合格数		
初段	98	100	248	248	133	133	481	36,005
2段	57	56	57	57	26	26	139	19,777
3段	19	18	52	52	12	12	82	17,813
4段	26	26	34	34	12	12	72	7,134
5段	4	4	7	7	4	4	15	2,662
6段	3	3	6	6	3	3	12	1,600
7段	0	0	1	1	0	0	1	791
8段	1	1	0	0	1	1	2	185
9段	0	0	0	0	0	0	0	31
10段	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計	208	208	405	405	191	191	804	86,001

(2) 高段者会入会

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国	四国	九州	日学連	日実業	高体連	合計
人数	80	247	251	346	99	338	91	109	328	75	22	16	2,002
増加	1	2	0	2	0	4	1	0	3	1	1	0	15

(3) 名誉段位贈呈

段位	氏名	所属	認証日
6	中川 清	茨城県土浦市長	9月30日

(4) 追授段位贈呈

段位	氏名	所属	認証日
8	伊東 勝人	西日本学生相撲連盟副理事長	2月 1日

7. 広報に関する事業

- (1) 機関誌「ちから」241号、242号、243号、244号を発行した。
内容の充実を図り、購読者の拡大に努めている。
- (2) 「アンチ・ドーピング関連情報」コーナーをホームページ内に設け、啓発活動に努めている。
- (3) 「ちから」211号から医科学委員会の協力により「土俵の健康」の連載を継続している。
- (4) 相撲教室、相撲道場などを積極的に紹介し、底辺の拡大を図っている。

8. 倫理・資格・懲罰に関する事業

(1) 第1回審議委員会（6月6日 日本相撲連盟会館会議室）

①アマチュア復帰の承認（6月6日）

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
井口 隆洋	16歳	千葉県	玉ノ井	西序二段 89	平成31年 1月
牧園 大悟	30歳	鹿児島県	境 川	西三段目 80	平成28年 7月
加藤 瞳	30歳	愛知県	追手風	東幕下 7	平成31年 1月
加藤 愛貴	33歳	愛知県	追手風	東三段目 17	平成22年 3月

②令和元年度少年少女武道優良団体表彰（日本武道協議会の表彰）

①岡崎市相撲教室（愛知県岡崎市）

②友部相撲スポーツ少年団（茨城県笠間市）

（7月28日（日）東京・靖国神社で開催の全国都道府県中学生相撲選手権大会会場において表彰された。）

(2) 第2回倫理・資格・懲罰委員会（11月26日 日本相撲連盟会館会議室）

①アマチュア復帰の承認(11月26日)

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
前田 勝	37歳	岩手県	放駒→芝田山	東幕下 3	平成30年9月
谷口 竜仁	19歳	千葉県	大嶽	西序二段 74	平成28年11月
小笠原将匡	29歳	千葉県	貴乃花	西幕下 14	平成26年5月
小笠原将史	29歳	千葉県	貴乃花	西幕下 3	平成26年11月
細田 亮	31歳	東京都	安治川	東序二段 30	平成19年1月
大勢 正平	19歳	神奈川県	春日山	西序二段 6	平成28年11月

②令和元年度 日本武道協議会表彰候補の推薦について

- ・ 武道功労者表彰候補 出村 克宣（日本学生相撲連盟会長）
- ・ 武道優良団体表彰候補 熊本県相撲連盟

③令和元年度日本相撲連盟相撲功労賞受賞者

前田 克巳（間口ホールディング株式会社代表取締役 CEO）

東 守（日本実業団相撲連盟事務局長）

（12月1日（日）両国国技館で開催の全日本相撲選手権大会会場において表彰された。）

(3) 第3回倫理・資格・懲罰委員会（2月25日 日本相撲連盟会館会議室）

①日本相撲連盟 令和元年度優秀団体・個人受賞者

最優秀団体賞 日本大学相撲部

優秀団体賞 社会人 アイシン精機株式会社相撲部

大学 日本体育大学相撲部
 高等学校 文徳高等学校相撲部
 中学校 栃木県大田原若草中学校相撲部
 女子相撲 青森県相撲連盟
 最優秀個人賞 谷岡 倅志郎（近畿大学）
 優秀個人賞 社会人 荒木 賢悟（東洋大学職員）
 大学 中村 泰輝（日本体育大学）
 高等学校 大桑 元揮（飛龍高等学校）
 中学校 新島 伊武起（鹿児島・龍郷町立龍南中学校）
 女子相撲 久野 愛莉（日本大学）

（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式は中止となり、受賞者に送付された。）

（４）スポーツ・インテグリティ講習会の開催

日 時 9月29日(日)
 会 場 霞ヶ浦文化体育館（茨城国体会場）
 講 師 南会長（医科学委員長）、櫛原常務理事（法令統治委員長、倫理・資格・懲罰副委員長）
 参加者 82名
 内 容 スポーツ・インテグリティ確保のため、アンチ・ドーピング知識の取得及び倫理規程の内容の周知を目的として開催された。

9. 医科学に関する事業

（１）ドーピング検査の実施

月日	大会名	検体数	会場
4/14	国際女子相撲堺大会	10	堺市大浜公園相撲場(大阪)
6/30	全国学生女子相撲選手権大会	4	日本大学八幡山体育館(世田谷)
8/18	全国教職員相撲選手権大会	6	奄美体験交流館(鹿児島)
9/1	全国学生相撲個人体重別選手権	8	靖国神社相撲場(東京)
10/6	全日本女子相撲選手権大会	8	堺市大浜公園相撲場(大阪)
11/3	全国学生相撲選手権大会	8	堺市大浜公園相撲場(大阪)
12/1	全日本相撲選手権大会	8	両国・国技館(東京)

(2) アンチ・ドーピング啓発講習会の開催

①選手向け講習会

- 1) 主催 東日本学生相撲連盟
日時 5月11日(土) 13:00～
会場 靖国神社相撲場(東日本学生新人相撲選手権大会)
- 2) 主催 西日本実業団相撲連盟
日時 6月23日(日) 9:00～
会場 堺市大浜公園相撲場(西日本実業団相撲選手権大会)
- 3) 主催 西日本学生相撲連盟
日時 7月7日(日) 10:00～
会場 堺市大浜公園相撲場(西日本学生選抜相撲大会)
- 4) 主催 東日本学生相撲連盟
日時 7月21日(日) 10:00～
会場 靖国神社相撲場(東日本学生相撲個人体重別選手権大会)
- 5) 主催 西日本学生相撲連盟
日時 7月21日(日) 10:00～
会場 堺市大浜公園相撲場(西日本学生相撲個人体重別選手権大会)
- 6) 主催 (公財)日本相撲連盟
日時 7月28日(日) 11:00～
会場 靖国神社相撲場(全国都道府県中学生相撲選手権大会)
- 7) 主催 (公財)日本相撲連盟
日時 9月29日(日)
会場 霞ヶ浦文化体育館(茨城国体)

②情報提供(アウトリーチプログラムの実施)

- 1) 主催 日本相撲連盟
日時 7月28日(日) 11:00～
会場 靖国神社(全国都道府県中学生選手権大会)
- 2) 主催 日本相撲連盟
日時 12月1日(日) 12:00～
会場 両国・国技館(全日本相撲選手権大会)

10. コンプライアンス・ガバナンス

公益財団法人として、「法令・定款に則った財団運営」に常時配意し、公正な運営に努めた。

11. 役員の交替

(1) 理事改選(6月15日)

・評議員

(退任) 勝田晃三、八木典彦

・理事

(就任) 南和文、田中英壽、籾本雅巳、安井和男、木崎孝之助、齋藤一雄、舛田守、
櫛原利明、川口三郎、円子昭浩、勝田晃三、八木典彦、白神治、岩淵昭弘、
加々美祐司、畠中美津男、下野拓夫、辻久美仁、佐々木力也、橋本真司、
正野崎肇、柳内光子、吉川幸生、築比地理絵、太田麻乃

(退任) 竹内晋岸、中山国久、櫻田一雅、高芳晴、橋本剛、逢沢一郎、
黒田良治、淀川忠明

・監事

(就任) 平真一、倉園真帆

(退任) 對馬英人

12. 定款の改正(6月15日)

定款第25条(役員の設置)について、男女共同参画推進の一環としての女性役員増加に係るスポーツ庁・日本スポーツ協会からの指導に基づき、理事数を23名以内から26名以内に変更し、今回の役員改選より適用した。

以上